

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換			
事業名	耕畜連携体制確立対策事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	
チーム名	生産振興チーム			

1 事業実施の背景及び目的

原油・原材料の価格上昇やウクライナ情勢等の影響により、肥料や飼料価格が高騰していることから、水田を主体とした循環農業を推進し、農作物の生産性向上や自給飼料増産の取組を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	堆肥利用促進体制整備事業	堆肥の利用促進を図るため、堆肥の高品質化や効率的な散布に係る取組を支援する。	28,984		
2	耕畜連携による稲わら収集・利用モデル実証事業	稲わら確保と水稲経営における新たな所得確保のため、地域の実情に即した稲わら収集・利用モデル実証を行う。	7,500		
3	新たな県産飼料資源確保実証事業	水田を活用した自給可能な新たな濃厚飼料生産や利用に係る実証を行う。	24,559		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			61,043	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他			61,043		
繰入金:地域活性化対策基金					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	耕畜連携モデル地区の設置数(地区)【業績指標】									
指標式	モデル地区数(累積)									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3	4	5
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	モデル実証集団による稲わら収集面積(ha)【業績指標】									
指標式	当該年度における稲わら収集面積									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	当該年度1月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								80	—	—
実績b							40			
b/a								0.0%		

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換			
事業名	次代につなぐ秋田牛食質向上対策事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	
チーム名	生産振興チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県産牛ブランドの確立と全国メジャー化を推進するためには、本県肉用牛の生産拡大とブランド力強化が不可欠である。このため、高能力な種雄牛の造成や、繁殖雌牛の産肉能力・脂肪の質を重視した遺伝的改良と飼養管理技術の向上に総合的に取り組み、令和9年の第13回全国和牛能力共進会北海道大会での全国評価の向上を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	種雄牛造成事業	産肉能力と種牛性を兼ね備え、脂肪の質に優れた種雄牛を効率的に造成する。	16,224		
2	高能力繁殖雌牛増産対策事業	優良な繁殖雌牛の県内保留等を支援し、繁殖雌牛の資質向上と生産基盤の強化を図る。	46,960		
3	全共出品技術強化事業	出品技術の強化を図るため、調教や飼養管理技術の向上に取り組むとともに、脂肪の質の改良に向けた肥育試験を実施する。	15,237		
4	若い担い手裾野拡大対策事業	若い担い手の早期の経営安定を図るため、繁殖・飼養管理技術等について重点指導するほか、担い手の裾野拡大に向け高校生への出品の取組を推進する。	3,966		
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			82,387	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他			13,630		
一般財源			68,757	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	黒毛和種去勢牛のMUFA(一価不飽和脂肪酸)平均値(%)【成果指標】									
指標式	県内でと畜された黒毛和種去勢牛のMUFA(一価不飽和脂肪酸)平均値									
出典	全国和牛登録協会による解析結果									
把握時期	翌年度5月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a							59.25	59.25	59.50	59.75
実績b					60.12	59.17				
b/a							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	④ 戦略的な米生産と水田のフル活用の推進			
事業名	そばの里づくりプロジェクト事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	園芸振興課	
チーム名	野菜・畑作・特用林産チーム			

1 事業実施の背景及び目的

「水田活用の直接支払交付金」の見直しに伴い、そば生産者の収入減少が見込まれており、収入確保に向けた支援策が求められている。このため、生産性向上と付加価値創出を目的として、単収向上技術の確立・普及を図るとともに、そば加工品開発や加工施設整備を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	そば生産性向上対策事業	単収向上のための排水対策や栽培管理等の技術実証を行うとともに、技術の普及・定着に向けて生産者の気運醸成を図る。	3,966		
2	そば産地異業種連携推進事業	農業者や食品製造事業者等が参加するプラットフォームを形成し、そばの付加価値向上を図るため、新ビジネスの創出を図る。	11,470		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	15,436	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		繰入金:地域活性化対策基金	15,436		
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	そば目標単収の達成地区数(地区)【成果指標】									
指標式	当該事業により設置する栽培技術実証において、目標単収(80kg/10a)を達成した地区数									
出典	園芸振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3	3	3
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	④ 戦略的な米生産と水田のフル活用の推進			
事業名	水田農業生産性向上緊急対策事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	水田総合利用課	
チーム名	農産・複合推進チーム			

1 事業実施の背景及び目的

「水田活用の直接支払交付金」の見直しに対応するため、田畑輪換や畑地化を推進し、持続可能で収益性の高い輪作体系を確立するとともに、大豆の技術普及・指導體制の強化や単収向上に向けた取組を実施する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	田畑輪換推進支援事業	田畑輪換や畑地化に対する技術指導、必要な機械導入を支援し、水田の生産性向上を図る。	90,000		
2	畑地化輪作体系確立事業	子実トウモロコシの栽培体系について試験・現地調査を実施し、畑作輪作体系を確立する。	481		
3	あきたの大豆単収向上 チャレンジ事業	単収向上に向けた実証ほやプロジェクトチームの設置による技術指導體制の強化に加え、フォーラム等の開催により、大豆単収向上に向けた機運醸成を図る。	93,525		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	184,006	0	0
国庫補助金	産地生産基盤パワーアップ事業、麦・大豆生産技術向上事業		91,825		
県債					
その他					
一般財源			92,181	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	大豆の単収(kg)【成果指標】									
指標式	大豆の10a当たりの収量									
出典	大臣官房統計部生産流通消費統計課									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								160	170	180
実績b		120	122	162	100	158				
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	大豆の作付面積(ha)【成果指標】									
指標式	大豆を作付けしたほ場の面積									
出典	大臣官房統計部生産流通消費統計課									
把握時期	当該年度10月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								10,000	10,000	10,000
実績b		8,720	8,470	8,560	8,650	8,820	9,420			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	2 林業・木材産業の成長産業化			
施策の方向性	③ 木材の生産・流通体制の整備と利用の促進			
事業名	あきた材ブランド力向上対策事業	事業年度	R5 R6	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	林業木材産業課	
チーム名	木材利用推進チーム			

1 事業実施の背景及び目的

ウッドショックや法改正により国産材を利用する機運が高まっていることから、他県産材との産地間競争に打ち勝つ対策を求める声が多くなっている。このため、県産材のブランド力強化を図ることを目的に、住宅等の内装に利用する木材製品のプロモーションを展開する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	あきた材ブランド発信事業	県産材を使いたいという意識を醸成するため、SNSや首都圏展示会等を活用したPRを行う。	11,500		
2	あきた材PR拠点整備事業	あきた材パートナーを対象に、内装材の利用を促進するための補助制度を行う。	10,500		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	22,000	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			22,000	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	あきた材パートナーの県産材利用量(m ³)【成果指標】									
指標式	あきた材パートナーの県産材利用量									
出典	林業木材産業課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								1,340	1,675	
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	

【指標Ⅱ】

指標名	あきた材PR拠点数(件)【業績指標】									
指標式	あきた材PR拠点整備事業実施件数									
出典	林業木材産業課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3	3	
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--